

地域とともに育つ コミュニティ・スクール

学校運営協議会の様子

令和7年12月12日
成田市教育委員会

それぞれの学校でどのような協議がされている
のか、紹介いたします。

平成小学校

前期の主な取組から、学校の現状と
課題について、協議が行われました。



●授業参観の様子について

授業参観の様子から、委員の方より、「児童が集中して授業に取り組み、生き生きとした様子が見られた。」「タブレット端末を活用しての工夫した掲示物や発達段階に応じて児童の役割や自主性を促す教育環境が整っていた。」「児童の反応や発言を大事にしたわかりやすい授業が展開されていた。」「先生方のきめ細かな指導やタブレット端末を効果的に活用した教材研究をされていることが伝わった。」等の感想がありました。さらに児童が主体的に学べるような授業の工夫や個に応じた指導を進め、様々な方々と交流しながら学ぶ場の提供ができるとよいという意見がありました。

●学校の現状と課題について

全国学力・学習状況調査の結果より、意識調査において、委員より「子どもたちが先生方を信頼している。」「内面が成長していることがわかる。」との意見がありました。学力面での課題や生活習慣と家庭学習の習慣について話題となり、生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん等）が、学習意欲につながるため、家庭の協力も必要であるとの意見が出されました。また、児童の実態が把握でき、情報共有ができるのであれば、地域へつないで、支援方法を検討することもできるとの提案もありました。平成小学校では、学校支援地域本部と「ゆめ協議会」が連携して、あいさつ運動やペットボトルツリーの制作、福祉体験等の教育活動支援を行っており、学校と地域が協働した取組が充実しております。

下総みどり学園

学校評価アンケートを基に、現状
の学校の課題について、協議が行わ
れました。



●行事参観の様子について

授業参観の様子から、委員の方より、「英語科の授業の様子について」「授業でのタブレット端末の活用について」「ノートへの書く活動について」質問や意見がありました。英語科では、学んだことを生かして外国の方と会話をする機会を設けていること、タブレット端末を様々な授業の中で効果的に活用して、児童生徒の実態に応じた授業の工夫をしていることの情報共有が図られました。ノートの活用では、課題に対してよく考えてまとめていたので、自分の考えを書き込んだり、自分でまとめたりする力を育てていくとよいという意見がありました。英語のスピーチコンテストや合唱コンクール等の行事で、上級生の素晴らしい姿は、下級生の目標になっているので、下級生が質問する場を作るなど、お互いに交流できるとさらに学びが広がるとのアイディアも出されました。義務教育学校の特色を生かした取組が多くありました。

●学校評価アンケートより、昨年度と比較しての成果と課題について

学校評価アンケートの考察を受けて、「楽しい学校生活」「基礎基本の定着」「健康な体つくり」「豊かな心」「安全な生活」の項目で成果が出ていることが共通理解されました。また、「読書の習慣」については、朝の読書タイムや月2回の読書ボランティアによる読み聞かせ、訪問お話し会等に取り組んでおり、図書室の環境も整っているので、さらに、高学年への読み聞かせや家庭で本に親しむ環境の働きかけ等を行い、読書を通して、子どもたちの心を豊かに育てていってほしいとの意見が出されました。